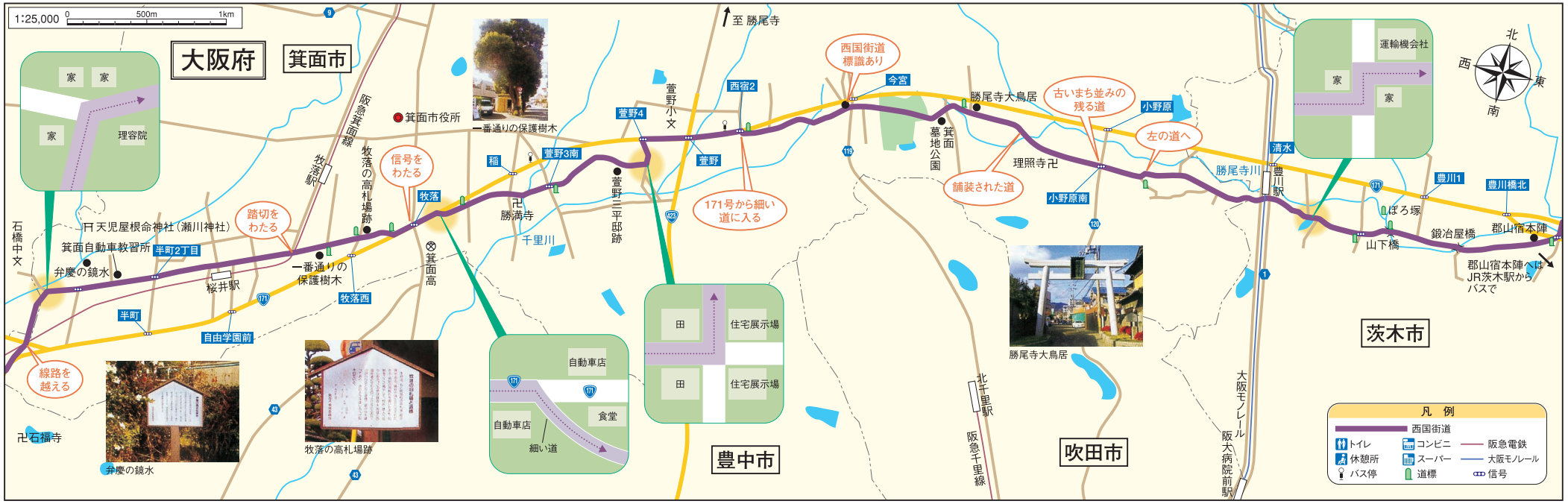
箕面市瀬川～茨木市豊川

歩行距離 10.8km
標準歩行時間 2時間15分
標準所要時間 4時間40分
（標準所要時間とは 観光、休憩を含めた時間）

箕面市から茨木市へ国道171号にそって進みます。道標が数多く建っているので、よい目印になります。街道からは離れますが、古くからある霊山・箕面山はぜひ訪れたいところ。名刹・勝尾寺のほか滝や周遊路もあり、特に紅葉の頃には多くの観光客でにぎわいます。小野原周辺は街道の面影を残しています。



天児屋根命神社（通称：瀬川神社）

藤原氏の祖神である天児屋根命（あめのこやねのみこと）が祀られています。また、神社の境内にある井戸は龍が水を飲んで天に昇ったという言い伝えがあり、井戸を「龍の井」と称し、この宮は「龍の宮」とも呼ばれています。入口脇には、木の根に飲み込まれた小さな祠があります。

萱野三平邸跡

忠臣蔵で「赤穂浪士48番目の義士」として知られる萱野三平の住居跡。三平は仇討ちに加わる決意をしながらも父親の反対にあい、その板挟みとなって自害したと伝えられます。三平が自害した長屋門と土塀の一部が残されており、昭和48年（1973）、大阪府の史跡指定を受けました。

勝尾寺

古来より霊力の宿る聖山として崇められた勝尾寺の山。そこに神亀4年（727）、善仲、善算が草庵を構え、光仁天皇の皇子・開成（かいじょう）皇子が大伽藍を建立し、弥勒寺と名付けました。6代座主の行巡上人のとき、勝尾寺としました。この辺りは紅葉の名所としても知られています。

ぼろ塚

ぼろとは虚無僧のこと。ぼろ塚は、吉田兼好の「徒然草」第115段にある「宿河原というところで敵同士であったぼろが出会って果たし合いをし、両方とも討ち死にした」という話に由来するとされています。現在では、二人のぼろが果たし合いをした場所として石碑が建っています。

スタート地点までの電鉄情報

兵庫方面から：三宮駅 阪急神戸線特急 約24分 十三駅 阪急宝塚線急行 約13分 石橋駅 石橋駅 阪急箕面線 約2分 桜井駅
大阪方面から：梅田駅 阪急宝塚線急行 約16分 石橋駅 阪急箕面線 約2分 桜井駅
京都方面から：河原町駅 阪急京都線特急 約39分 十三駅 阪急宝塚線急行 約12分 石橋駅 石橋駅 阪急箕面線 約2分 桜井駅

帰りの電鉄情報

兵庫方面へ：茨木駅 JR京都線快速 約39分 三ノ宮駅
大阪方面へ：茨木駅 JR京都線快速 約12分 大阪駅
大阪方面へ：豊川駅 大阪モノレール 約8分 南茨木 阪急京都線 約17分 梅田駅
京都方面へ：茨木駅 JR京都線快速 約6分 高槻駅 JR京都線新快速 約12分 京都駅